「豊田市の交通政策のこれまでとこれから」





月 次

- 1 豊田市の特徴
- 2 交通政策のこれまで
 - (1)TDM
 - 2ITS
 - ③交通まちづくり行動計画(2006~)
 - ④公共交通基本計画(2007~)
- 3 交通政策のこれから
 - ①今後の取組
 - ・SDGs未来都市とよた
 - ・つながる社会実証推進協議会
 - ・これからの豊田市の交通政策
 - ②豊田都市交通研究所に期待すること



日本の縮図 都市と中山間地の共存

平成17年に6町村と合併



水面・河川・水路 市域の7割を そのほか 道路 2,829ha 森林が占める 3,618 ha_3% 9,428ha 10% 4% 宅地 6,602ha 総面積 7% 農用地 91,832ha 6,740ha 7% 森林 62,615ha

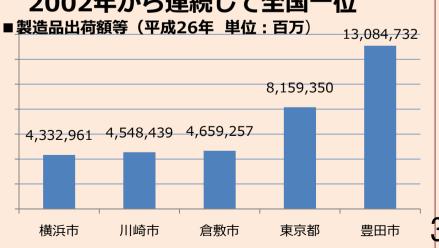
<豊田市の土地利用内訳>

ものづくりのまち



国内有数の産業規模

豊田市の製造品出荷額等は、 2002年から連続して全国一位



68%



自 次

- 1 豊田市の特徴
- 2 交通政策のこれまで
 - (1)TDM
 - 2ITS
 - ③交通まちづくり行動計画(2006~)
 - ④公共交通基本計画(2007~)
- 3 交通政策のこれから
 - ①今後の取組
 - ・SDGs未来都市とよた
 - ・つながる社会実証推進協議会
 - ・これからの豊田市の交通政策
 - ②豊田都市交通研究所に期待すること



豊田市の交通政策のこれまで(歴史)

	豊田市	豊田都市交通研究所
○昭和40~60年代 ・道路整備、渋滞対策	・道路整備、交通安全部署で 調査研究	【前史】 ·昭和54年3月組織発足 豊田都市交通問題研究会 (昭和56年4月財団法人化)
○平成当初・渋滞対策への新たなアプローチT D M 導入	・平成10年組織発足 企画部企画課総合交通担当 (総合交通政策の推進など) ※平成14年度より都市整備 部交通政策課	・平成3年3月現組織設立 豊田都市交通研究所・TDMの取り組みで4つの社会実験を実施 (短距離交通実験バスの運行など)
平成10~20年代・交通総合対策・ITS導入・交通まちづくり・公共交通網整備	 ・平成16年度 ITS情報センターを設置 ITS世界会議に参加 ・平成18年 交通まちづくりビジョン2025 ・平成19年3月 公共交通基本計画策定 (おいでんバスの運行) 	 ・平成16年8月30日 豊田都市交通研究所がITS情報 センターの指定管理者 ・平成18年 市へ都市交通ビジョンの答申 市へ公共交通基本計画の提言
○平成30年代~令和 ・人口減少、コロナに 対応する公共交通	・公共交通利用促進策の展開 (一日乗車券、FCバス運行)	・平成30年度~ 自主研究を市へ政策提言 (中期ビジョン平成30年~令和4年)
※TDM:交通需要マネジメント、ITS:高度道路交通システム		

①TDM(交通需要マネジメント)

- ・1993年(H5) 豊田都市圏新渋滞対策調査(国・県・豊田市)を実施
- ・1994年(H6)~1995年(H7) 市内で4つの社会実験を実施
 - ●都市部短距離交通実験バスの運行
 - ●休日イベントパークアンドライド実験
 - ●トヨタ自動車本社地区鉄道通勤への転換実験
 - ●都心部における通勤方法転換実験
 - ※いずれも豊田都市交通研究所が 実践的な組織を担う
- ・1996年(H8) 市内事業所を対象にTDM勉強会を発足
- ・2008年(H20年12月) エコ交通をすすめる会(※研究所が事務局)に移行
- ・現在はTDMからMM(モビリティマネジメント)へ





②ITS(高度道路交通システム)

- ・1996年(H8) 国の関係5省庁が全体構想を提唱
- ・1998年(H10)ITSモデル地区の1つに選定、ITSモデル地区実験in豊田
- ・2004年(H16)第11回ITS 世界会議(写真上)愛知・名古屋2004開催※豊田市もブースを出展参加
- ・2004年8月30日 豊田市ITS情報センター(写真下)開設 ※豊田都市交通研究所が指定管理
- ・これからは、次世代ITSへ







③交通まちづくり行動計画

人口減少や超高齢社会、グローバルな大交流時代を迎える中で、**世界に誇れる「かしこい交通社会」**を目指して、基盤となる「環境」「安全・安心」、柱となる「交流促進」「移動円滑化」を4つの基本目標とした交通まちづくりを進めることで、人々の暮らしやすさとまちの魅力・活気・交流を高める。

交通まちづくり行動計画(2016-2020)

方向性

これまでの交通まちづくり ネットワークや安全性など 交通の基盤づくりを重視



これからの交通まちづくり モビリティ(移動)の質の向 上と、それらをかしこく使え る環境づくりを重視



人々の暮らしやすさとまち の魅力・活気・交流を高める ~ 理 念 ~

<目標年次:2040>

世界に誇れる「かしこい交通社会」

- ①都市部~山間部~市外まで、丸ごとつながる交流・躍動のまち
- ②多様な移動手段が調和し、誰もが快適に移動できるやさしいまち
- ③世界一安全・安心・快適で、交通事故のないまち
- ④環境と利便性が両立した交通が支える持続可能なまち

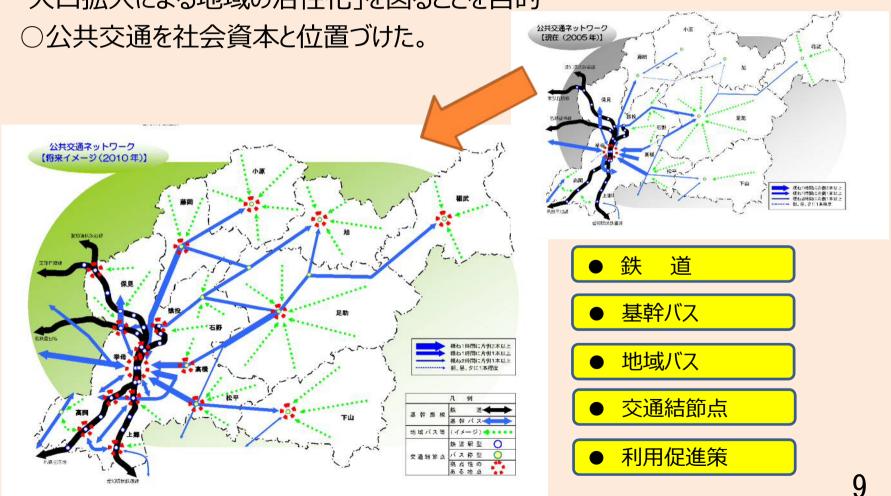
民産学官による共働、 横断的なITS・ICT・TDM等の活用による施策の支援





④公共交通基本計画 (H19~)

- 利便性の高い公共交通ネットワークの構築
 - ○合併を契機に「都市としての一体性の形成」、「都市と農山村の共生」、「交流 人口拡大による地域の活性化」を図ることを目的





月 次

- 1 豊田市の特徴
- 2 交通政策のこれまで
 - (1)TDM
 - **2ITS**
 - ③交通まちづくり行動計画(2006~)
 - 4公共交通基本計画(2007~)
- 3 交通政策のこれから
 - ①今後の取組
 - ・SDGs未来都市とよた
 - ・つながる社会実証推進協議会
 - ・これからの豊田市の交通政策
 - ②豊田都市交通研究所に期待すること

級 SDGs未来都市とよた

2030年のあるべき姿

"つながる つくる 暮らし楽しむまち・とよた"の実現

(第8次豊田市総合計画 豊田市の将来都市像)

コンセプト

「みんながつながる ミライにつながるスマートシティー

SDGsの理念に沿った統合的取組(経済・社会・環境)の視点で、多様な主体の「自立」と 「つながり」をもって本市の取組を加速化し、スマートシティを実現



都市と山村の2面性を生かし、

環境だけでなく、社会・経済にも

統合的に取り組む













- エネルギー
- ・モビリティ
- ・ウエルネス



₫









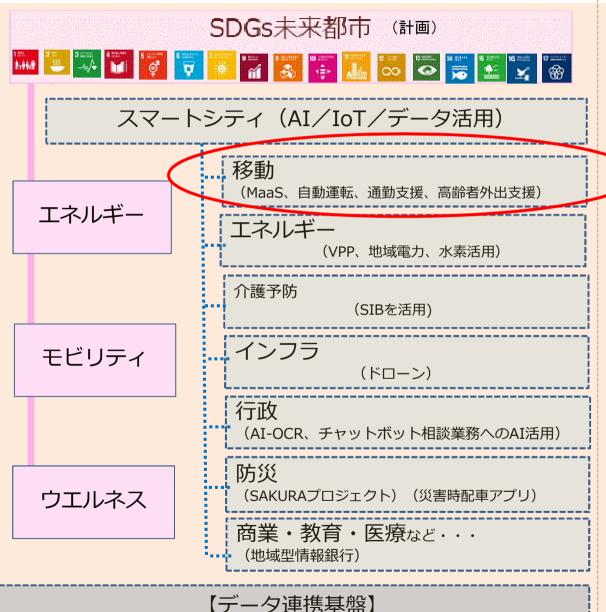








豊田市 SDGs未来都市計画



SDGs パートナー 連携企業 (347団体) ※R3.9.30現在



豊田市 つながる社会 実証推進協議会 (85団体)



おいでん さんそん センター



12

とよたSDGsパートナー





とよたSDGsパートナー

登録企業·団体数347 (2021年9月末現在)



豊田市つながる社会実証推進協議会



設立日 2016年10月12日

会員

85団体(2021年11月現在)

AI・IoT等の先進技術を 活用し、社会課題の解決を図る









豊田市つながる社会実証推進協議会【次世代自動車】









豊田市つながる社会実証推進協議会【自動運転】









豊田市つながる社会実証推進協議会【高齢者移動支援】

里モビLIFEプロジェクト(高齢者の外出促進)

たすけあいプロジェクト







豊田市つながる社会実証推進協議会【パーソナルモビリティ】

















豊田市つながる社会実証推進協議会【ドローン】

ドローン導入 水難救助訓練







空飛ぶクルマの実証



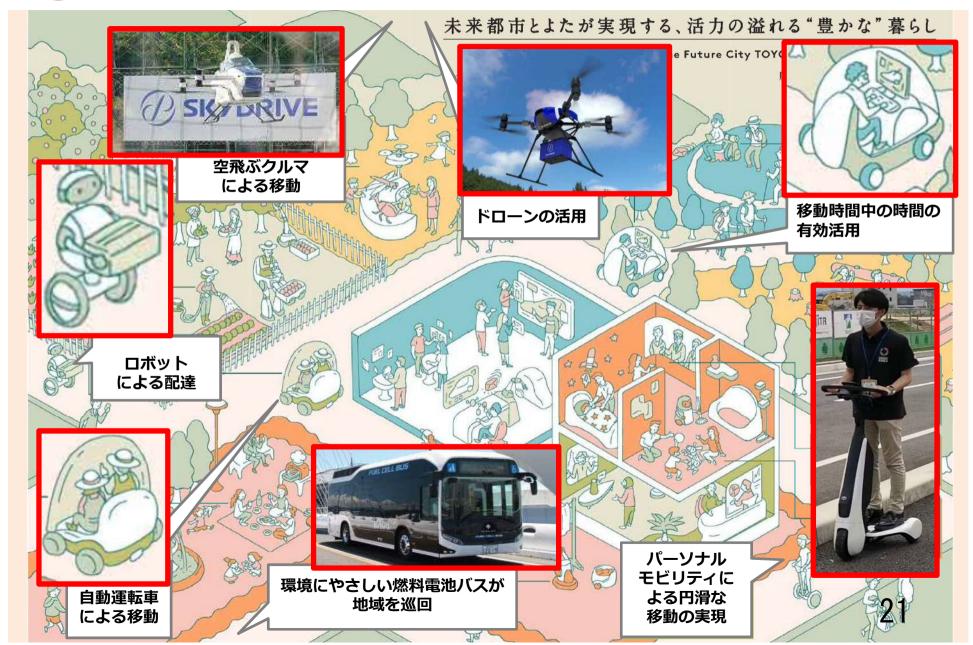








将来の豊田市での暮らし





これからの豊田市の交通政策

行政

• •

ささえ

(安全面の確保等)地域での検討支援基幹交通の運行

地 域

• 運行事業者の支援が困難な地域では「共助」の仕組みで"交通弱者"のための地域

モビリティを維持

障がい者

地域住民のチカラ

ささえ

高齢者

こども

ささえ

交通事業者との連携

安全、安心な運行への支援

民間企業のチカラ

先進技術の活用

「自動運転」「グリーンスローモビリティ」 「超小型PMV」「デマンド配車システム」 ささえ

22

安 全

安心

に暮らせるまちの実現



目 次

- 1 豊田市の特徴
- 2 交通政策のこれまで
 - (1)TDM
 - **2ITS**
 - ③交通まちづくり行動計画(2006~)
 - 4公共交通基本計画(2007~)
- 3 交通政策のこれから
 - ①今後の取組
 - SDGs未来都市とよた
 - ・つながる社会実証推進協議会
 - ・これからの豊田市の交通政策
 - ②豊田都市交通研究所に期待すること

※ 都市交通研究所に期待すること

- ●今後の都市交通研究所に期待すること
- ①「都交研ならでは」という研究テーマの設定
- ②交通のためでなく「何かのため」の交通のあり方
- ③豊田市の課題が解決に結びつくような研究

- ・ウィズコロナ、アフターコロナ
- ・超高齢社会、たすけあい(共助)

を強く意識した研究に期待

